

# ぶっくん

としょかんだより (R1.秋の特別号)

発行：大分市民図書館

TEL: (097) 576-8241

http://www.library.city.oita.oita.jp/

## 秋の読書週間

10月27日(日)～11月9日(土)は秋の読書週間です。読書の秋、スポーツの秋、食よきの秋・・・という言葉をよく聞きますが、みなさんはどんな秋をすごしたいですか？

1947年、まだせんそうのあとがあちこちのこっている中で、日本は「読書の力で平和な国を作ろう」としました。出版社や書店、新聞などのマスコミもさんかし、第1回は11月17日から「読書週間」が開かれました。これが大きな話題をよび、次の年の第2回からは期間も10月27日～11月9日と決まり全国に広がっていきました。みなさんもぜひ、おはなしの世界にとびこんでみましょう！！

(参考：公益社団法人 読書推進運動協議会ホームページ)



# おはなしの世界へようこそ

読み聞かせボランティアによる読み聞かせやおはなし会をおこないます。ふだん、土・日・しゅくじつに行う読み聞かせより少し長い時間しますのでいつもよりたくさんのおはなしを楽しめますよ♪出入り自由なので気軽ににおこください！！

読み聞かせ

おはなし会

10月27日(日) 午後2時～3時

11月2日(土) 午前11時～正午

大分市民図書館 (J:COM ホルトホール大分内)  
2階おはなしのへや

コンパルホール分館  
階段式読書コーナー

# 文化講演会



## 「どうぶつと共に生きる」



今年の文化講演会は 神田 岳委 氏によるたのしい講演会です。

11月4日(月) 午後2時～3時30分 (開場午後1時)

コンパルホール3階 多目的ホール

300名 ※入場無料ですが、**整理券が必要**です！

整理券配布開始は10月16日(水)～なくなり次第終了  
※大分市民図書館2階中央カウンター (J:COM ホルトホール大分内)

コンパルホール分館カウンター

各地区公民館図書室 (中央・植田公民館をのぞく)

鶴崎・植田市民行政センター図書室

**枚数に限りがあるので、お早めに！！**

## 神田岳委 (九州自然動物公園アフリカンサファリ 獣医師)

大分県臼杵市出身の昭和44年生まれ。50歳。



略歴

- 大分県立臼杵高校卒業
- 日本獣医畜産大学 (現日本獣医生命科学大学) に入学
- 平成6年に獣医師となり、九州自然動物公園アフリカンサファリに入社
- 現在、アフリカンサファリ取締役副園長 獣医師
- 臼杵市教育委員
- 大分県獣医師会 学校飼育動物担当
- 執筆活動のほか、各地での講演会なども精力的に行っている。



- 著書等
- 大分合同新聞に「獣医さんの観察記」を連載中
  - 著書『サバンナに生きる』(大分合同新聞社出版)
  - 写真集『もふもふ日誌』(リフレ出版)



- メディア出演
- OBS ラジオ「動物なしか！」
  - OBS テレビ「かぼすタイム」



秋

お

す

の

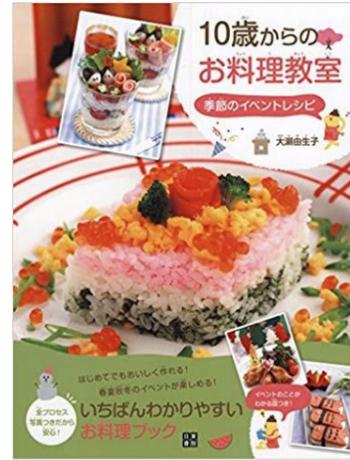
に

す

め

本

ここでは秋におすすめの本をしょうかいしています！



『10歳からのお料理教室 季節のイベントレシピ』

大瀬由生子/著

[日東書院本社]

この本は、料理にきょうみをもちはじめた小学生のころから楽しむように、季節の行事をイメージするかざりつけをした料理をしょうかいしています。料理にかかる時間の目安やちょうりのポイントなどが、作業ごとに写真つきでわかりやすく書かれており、安心して料理ができます。



『たったひとつのドングリが』

ローラ・M・シェーファーとアダム・シェーファー/文

フラン・プレストン=ガノン/絵

[評論社]

一つのドングリから始まる森の生たいけいについてわかりやすく書かれた本です。ドングリが木に育ち、そこに少しずつ動物が来たり、植物が増えたり、それらが互いにえいきょうをあたえ合ってたかな森となっていく様子がかんたんな言葉ときれいなイラストで表現されています。ドングリが木からおちるきせつにぜひ読んでほしい1さつです。

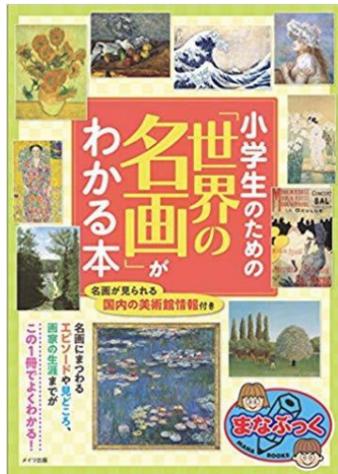


『ハロウィーンのひみつ』

はやしちかげ/作・絵

[金の星社]

ふたごのま女のアンナとハンナは、ハロウィーンの夜、大好きな人間の子もたちのところへ遊びに行きました。ところが、大きな火の火のこにつつまれて、アンナのすがたが消えてしまいました。子どもたちはアンナをさがすため、ハロウィーンのひみつについてしらべます。ハロウィーンの由来を知りたい方におすすめです。



『小学生のための「世界の名画」がわかる本』

レプン/著

[くもん出版]

世界の名画と聞いて、どのような作品を思いうかべますか？この本では海外だけでなく、日本の作品もしょうかいしています。その絵がかかれたはいけいや画家の人生などが、わかりやすく書かれており、いろんな絵を見ることができワクワクする1さつです。



『アスリートがくれた元気が出る言葉』

[あかね書房]

言葉は人をゆうきづけたり、げんきづけたりします。この本にはさまざまなアスリートが大切にしている言葉があつめています。なにかにくじけそうになったとき、この言葉たちを見ると前向きな気持ちになり、元気が出てきます。

ラグビーの田中史朗選手は「小さくてもスピードがある」という言葉を大切にしています。高校の時にかんとくからこの言葉をかけられ、小さいことがコンプレックスだった田中選手はさらにスピードという武器があることに気づきます。ほかにも野球の筒香嘉智選手やサッカーの香川真司選手、など多くの選手の言葉が書かれています。